

愛知大学(学部・短大)の 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)について

大学全体

愛知大学では、「国際文化と平和への貢献」「国際的教養と視野を持った人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神としており、これに基づいた人材を社会に送り出すことを使命としています。また、建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生の選抜を目標としています。各学部の専門教育はそれぞれ異なりますが、いずれの学部に入学者になるにしてもカリキュラムは高等学校で身につけた幅広い分野にわたる基礎学力を前提としています。本学では、基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課す一般入試に重点をおいた入学試験を実施しています。また、推薦入試については、一定水準以上の学業成績や学力条件を満たし、学力以外の面においても、優れた能力や豊かな経験をもつ学生、具体的には、リーダーシップや交渉力、自ら発信する能力をもった学生を求めています。さらには、それらの能力を生徒会活動や部活動、ボランティア活動等の経験を通して培った学生を求めています。

法学部

法学部では、一般入試・推薦入試のいずれにおいても養成する人材として、以下のことを考えています。
《養成する人材》

- (1) 社会正義や人権への理解を基礎として、対立する利益や価値を調整できる人材。
- (2) 法や政治についての基本的な事柄を現実に応用する能力、あるいは社会の現実の問題から法や政治についての問題を見つけだし、その問題を解決できる人材。
- (3) 国際的な観点から、わが国の法や政治の特徴や問題を把握して、将来への構想を考えることができる人材。

入学志願者に期待することとして、以下の(1)～(3)を考えています。推薦入試では特に以下の(1)(3)を、一般入試では特に(2)(3)を考えています。
《入学志願者に期待すること》

- (1) 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしていること。
- (2) 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有すること。そして、そのために必要となる基礎的な学力・論理的思考力を一定程度備えていること。
- (3) 以上の期待される事柄をより深く理解するために、国際的な観点からわが国の法及び政治の特徴や問題を把握する強い意欲を有すること。そして、そのために必要な外国語の基礎的な能力を備えていること。

経営学部・経営学科

経営学科は、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際経営の各領域について基礎的・専門的知識を体系的に学習し、幅広い視野からさまざまなビジネスの現実を分析・解決する能力を備えた人材、そして経営管理に関する実践的なスキル・知識を習得し、グローバル化した国際ビジネス社会のなかで主体的に活躍できる人材を育成することを目指しています。

本学科は、こうした目標から、経営学の諸領域をより専門的に幅広く学びたいという学習意欲の高い人の受入れを考えており、そのために入学希望者に一定の学力を求めています。

- [一般入試] 高等学校段階の国語、英語、社会、数学等について十分な基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を総合的に備えている人。
[推薦入試] 学業・人物共に優秀であると認められ、様々な課題に積極的に取り組んできた実績を有する人で、本学科での学習に円滑に移行することができる程度に高等学校段階の国語、英語、社会、数学等について一定の基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を備えている人。

本学科は次のような入学希望者を受入れたいと考えています。

- (1) 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった人。
- (2) ビジネスや行政などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている人。
- (3) 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする人。

経営学部・会計ファイナンス学科

会計ファイナンス学科は、経済社会の様々な分野で活躍していくために必要となる会計やファイナンスの専門的知識と実践的技能、そして人間社会を文化的により豊かに生きていくために必要な教養をバランスよく身につけ、自己の能力を主体的に高めていくことのできる社会的に信頼された人材の育成を目指しています。

本学科は、こうした目標から、会計やファイナンスをより専門的に幅広く学びたいという学習意欲の高い人の受入れを考えており、そのために入学希望者に一定の学力を求めています。

- [一般入試] 高等学校段階の国語、英語、社会、数学等について十分な基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を総合的に備えている人。
[推薦入試] 学業・人物共に優秀であると認められ、様々な課題に積極的に取り組んできた実績を有する人で、本学科での学習に円滑に移行することができる程度に高等学校段階の国語、英語、社会、数学等について一定の基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を備えている人。

本学科は、会計の職業的専門家(公認会計士、税理士等)を目指したい人だけでなく、一般企業、金融機関(銀行・証券会社・保険会社)、商業高校等で、会計やファイナンスの知識や技能を活かした職業に就きたいと考える人にも幅広く門戸を開いています。

現代中国学部

現代中国学部は現代中国について人文・社会科学両面からの総合的に教育・研究を行い、国際的視野と国際的識見を備えた日中友好の架け橋となる人材育成を目的としています。このため言語文化・国際関係・ビジネスの3コースを設け、また2年生の段階で4ヶ月間の中国現地留学により中国語教育を行い、さらに3年次には中国現地での研究実習、インターンシップを実施して実践的・能動的な教育を行っています。

現代中国学部はこのような教育目標にふさわしい次のような学生を入試種別毎に求めています。

- (1) 一般入試では、基礎的学力を備え、中国に強い関心と勉学意欲を持つ人
- (2) 推薦入試では、一定水準以上の学業成績および学力条件を満たし、中国に強い関心と勉学意欲を持つ人
- (3) AO入試では、一定水準以上の学力条件を満たし、学力以外に優れた能力を持ち、あるいはこれまでに中国語の学習経験を持ち、中国に強い関心と勉学意欲を持つ人

経済学部

教育研究上の目的の一つは、「経済学に関する専門的学芸を教授することに加え、幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性を養うことを目標とする」ことにあります。経済学部では、以下のような学生を求めます。

- (1) 主体的に学習する意欲を持っている人
- (2) 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人
- (3) 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人
- (4) 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人
- (5) 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人

いずれの入試においても基礎学力を有することを求めますが、一般入試以外の入試方式に関しては、学力以外の面において優れた学生や経験を持つ学生にも門戸を開き、小論文では、論理的思考力、的確な主張、文章の表現力などを問います。留学生については、日本語による会話・コミュニケーション能力などについても重視します。

文学部

社会的諸事象に対して、広く人文諸学の成果に基づき論理的かつ批判的に分析・思考する能力を有し、さらにそれぞれの職域において指導的立場に立って、企画構想、問題解決などの実践を行なうことができる人材を育成します。

こうした観点から文学部では、求める学生像を以下のように考えています。

《求める学生像》

- (1) [一般入試]高等学校の各教科、とりわけ国語、英語、社会、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができています。[推薦入試]高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している者。
- (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている者。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある者。
- (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、何らかの形で将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する者。

国際コミュニケーション学部・言語コミュニケーション学科

言語コミュニケーション学科は、国際共通語の地位にある英語の高度な運用能力の習得を柱に、中国語、ドイツ語、フランス語、韓国・朝鮮語等の第二外国語の習熟にも力を入れています。これらの言語の習得をベースに、国際社会において世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力を教授し、キャンパス・アテンダント等のエアライン業務、旅行会社、ホテル業務、英語教師、企業の海外事業や国際流通部門の担当者等、高い語学能力と国際理解力が必要とされる職務に適応できる人材の育成を目指しています。

本学科は一般入試の受験者に広く門戸を開いていますが、それ以外にも各種推薦入試制度を設けています。例えば、一般推薦での受験資格は英検2級以上（もしくはTOEIC520点以上等、それと同等の英語能力を有していること）としておりますが、これは高校卒業レベルの英語能力を要求するものです。また併願制の推薦では、英検準2級以上を取得していることを条件とし、英語の学科試験と面接による英語のスピーキングの試験を課します。

国際コミュニケーション学部・比較文化学科

比較文化学科は、異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら、国際的な場で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのため、生きたコミュニケーション能力を高めるための英語を身につける密度の濃い学習プログラムをはじめ、より洗練された日本語能力を磨きながら、多言語環境にも慣れていくための学習環境を整備しています。さらに、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、日本をめぐる国際関係や文化、政治、社会について国際人としてのコンセンサスを培い、国際・国内フィールドワークを実施して、人・モノ・コトの具体的な交流経験知を高めます。諸外国からの留学生も広く受け入れ、多文化環境が自然に身につくようさまざまな工夫を凝らしています。

本学科卒業生は、観光業務、金融関係、公務員等幅広い分野で活躍し、そのネットワークを活かしたステップアップも実践しています。

本学科は一般入試・推薦入試受験者にも広く門戸を開いています。一般推薦での受験資格は、英検準2級以上として高等学校教育の水準に十分配慮したものにしていますが、むしろ入学してから飛躍的に学生の能力を向上させるシステムを備えています。また、併願制の推薦でも、英検準2級以上を取得していることを条件とし、英語の学科試験と面接による英語のスピーキングの試験を課します。

地域政策学部

地域政策学部では、「地域を見つめ、地域を活かす」を学部理念とし、地域政策学に関する知識を基礎に、地域とその諸問題を深く理解し、まちづくりと持続可能な社会づくりに貢献する人材すなわち高度な「地域貢献力」を備えた人材の養成を目指します。具体的には、以下のような人材を養成します。

- (1) 地域と生活にかかわる制度や法、政治、経済、行政を理解した人材
- (2) 地域の諸問題を科学的に把握できる人材
- (3) 地域の諸問題の解決策を分析、考察できる人材
- (4) 地域の問題に関する解決活動や計画立案に積極的に参加できる人材
- (5) 地域再生や地域振興、地域活性化にかかわる手法や技術を持った人材
- (6) 交流、連携、協働の中で新たな地域の構想、創造のため具体的に行動する人材

これら高度な「地域貢献力」を備えた人材の養成のために、地域政策学の専門知識とともに、現代人に求める「学士力」とコミュニケーション能力・コミットメント能力・コンプライアンス能力という教養をも育成します。

以上の観点から、地域政策学部では、教育理念と教育課程の特色を踏まえて、入学者受け入れ方針として、受験生に以下のような能力、意欲、適性等を求めるものとします。

- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人
- (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人
- (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人
- (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人
- (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人
- (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人

短期大学部

短期大学部ライフデザイン総合学科における教育目標は、カリキュラムに示す各分野の学識を高めることを通じて以下に示す能力等を養い、主体的に自らのライフデザインを描けるようにすること、さらにはその技能を社会に還元する力を育成することにあります。

- (1) 自分らしい生き方や職業について主体的に考え表現し、自らの将来像の具現化を図ることのできる能力
- (2) 日本と国際社会を基盤に自らの文化や生活を見つめ、人とコミュニケーションのできる個性や能力
- (3) 健康で自立的な社会人・職業人やライフデザインについて理解を深め、受動的な消費生活からの脱却をめざす意識や実行力
- (4) 生涯にわたって学ぶことの意義や豊かさを自覚し、地域文化やコミュニティの向上発展をめざした生涯学習社会の実現に貢献する能力

本短期大学部は、高等学校卒業までにさまざまな科目を広く学び基礎学力を身につけた女性で、ここに掲げたものを自らの入学後の学習目標として、主体的に学ぶ意欲を持った人に対し広く門戸を開放しています。

いずれの入試においても基礎学力を有することを求めますが、推薦入試に関しては、豊かな経験を持つ学生にも門戸を開いています。自己推薦入試における小論文では、論理的思考力、的確な主張、文章の表現力などを問います。留学生については、日本語による会話・コミュニケーション能力などについても重視します。